

修 士 論 文 の 和 文 要 旨

研究科・専攻	大学院 情報システム学研究科 社会知能情報学専攻 博士前期課程		
氏 名	藤原 誠	学籍番号	1051026
論 文 題 目	タグクラスタ多様化による未知性を考慮した推薦手法の提案		
<p>要 旨</p> <p>近年推薦システムは膨大な情報の中からユーザの望む情報をフィルタリングする有用な技術として用いられてきた。推薦システムの研究において、推薦の有用性は予測精度の正確さ（適合率、再現率）とされていたが、従来の協調フィルタリングやコンテンツベースの推薦方法では、予測精度が高いがゆえに似たようなコンテンツばかり推薦されてしまい、ユーザは予測精度の高さだけでは満足しないということが報告されている。したがって、今後の推薦システムの課題として、知らないコンテンツや潜在的な嗜好に合致するコンテンツを推薦するといった予測精度以外の新たな観点が重要とされている。</p> <p>こうした課題を踏まえ、本論文では推薦リストの未知性という観点に着目し、ユーザにとって嗜好に合致するが、まだ知らないコンテンツの発見を促す推薦手法について述べる。一般的に嗜好に合致するコンテンツを推薦することとユーザがまだ知らないコンテンツを推薦することとの間には、トレードオフの関係があるとされているが、folksonomy（フォークソノミー）の多面的に付与されたタグに基づき、各話題単位で推薦リストを緩やかに多様化することにより、こうしたトレードオフを解消できるという考えのもと、未知性を考慮した推薦手法を提案する。その際にfolksonomyの欠点から生じる予測精度低下を階層的クラスタリング及びユーザプロファイルに基づいたタグクラスタの選択・粒度決定により解決し、まだ知らないコンテンツを推薦する。</p> <p>評価実験として、はてなブックマークのデータセットを用いて、推薦リストをユーザに提示し、アンケートを行った。その結果、推薦リストの約6割に嗜好に合致し、かつ知らないコンテンツが含まれ、提案手法で未知性の高い推薦が実現できていることを確認した。</p>			